

カリキュラム・マップ

文学部の教育目的	
世界の多様な文学・言語・文化・歴史・思想・教育に関するテキストや人に触れることを通じて、幅広い人文的教養と深い人間理解に裏打ちされた主体的な批評精神をもって社会に貢献できる人を育てる。	

学修成果	
<p>【学部全体】</p> <p>「学士(文学)」を授与される学生は、以下のような能力を有する。</p> <p>① キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること</p> <p>② テキストを正確に読解できること</p> <p>③ テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること</p> <p>④ 複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと</p> <p>⑤ 他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと</p>	<p>【文学科】</p> <p>⑥ 言葉による人類の遺産を知り、文化創造の源に参加する。</p> <p>【英米文学専修】</p> <p>⑦ 英語および英米文学・文化について広く深い理解を持つ。</p>

文学部文学科(英米文学専修)のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	①キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること	②テキストを正確に読解できること	③テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること	④複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力をもつこと	⑤他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと	⑥言葉による人類の遺産を知り、文化創造の源に参加する	⑦英語および英米文学・文化について広く深い理解を持つ
入門講義1・2	必修 (指定科目A)	1	英語学・英米文学を学習・研究する上で必要不可欠な基礎知識と思考力を修得し、英語学・英米文学の授業において用いることができるようになる。	○	△	△	○	◎	◎	◎
入門演習B1・2 a-g	必修 (指定科目A)	1	英米の文学作品を読み、文学を読む喜びを知ると同時に、今後の学習・研究の基礎となる読解力を養うことにより、文学鑑賞上の議論を行い、レポートを作成することができるようになる。		◎	◎	○	○	○	◎
基礎演習1・2 a-g	必修 (指定科目A)	2	入門演習での成果を踏まえ、文学研究の基礎となる専門用語と分析技法を修得し、英米の文学作品を読み、より高度な読解力を養うことにより、文学研究上の議論を行い、レポートを作成することができるようになる。		◎	◎	○	○	○	◎
英語基礎演習1・2 a-g	必修 (指定科目A)	2	英語による演習を通して、文学研究の基礎となる専門用語と分析技法を修得し、英米の文学作品を読み、より高度な読解力を養うことにより、英語で議論を行いレポートを作成することができるようになる。		◎	◎	○	○	○	◎
演習B1～30	選択 (指定科目B1)	3～4	英語学・英米文学の知識と方法論を総合し、議論・発表・レポート作成など、英語学・英米文学研究を実践できるようになる。		◎	◎	◎	○	◎	◎
英語表現演習1～20	選択 (指定科目B2)	3～4	英語による演習を通して、英語学・英米文学の知識と方法論を総合し、英語での議論・発表・レポート作成など、英語学・英米文学研究を実践できるようになる。		◎	◎	◎	○	◎	◎
文学講義1～42	選択 (指定科目C)	2～4	英語学・英米文学・文化、英語圏文学・文化に関する講義を通して、必要な読解力と知識を修得すると同時にそれぞれの分野固有の研究方法を学び、思考力を養うことにより、自ら研究を実践できるようになる。	○	△	△	◎	◎	◎	◎
卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	選択 (指定科目C)	4	これまでの学習成果に基づき、英語学・英米文学研究を自ら実践し、規定の書式に則り卒業論文にまとめることを通じて、大学での研究成果の集大成を論文で著すことができるようになる。		◎	◎	◎	◎	◎	◎